

## 歯科矯正学分野

### 論文

#### A 欧文

##### A-a

1. Kurohama T, Hotokezaka H, Hashimoto M, Tajima T, Arita K, Kondo T, Ino A, Yoshida N: Increasing the amount of corticotomy does not affect orthodontic tooth movement or root resorption, but accelerates alveolar bone resorption in rats. *Eur J Orthod*. 2016 May 3. pii: cjw038. doi: <https://doi.org/10.1093/ejo/cjw038> (IF: 1.440)
2. Arita K, Hotokezaka H, Hashimoto M, Nakano-Tajima T, Kurohama T, Kondo T, Darendeliler MA, Yoshida N: Effects of diabetes on tooth movement and root resorption after orthodontic force application in rats. *Orthod Craniofac Res*. 2016 May;19(2):83-92. doi: 10.1111/ocr.12117. Epub 2016 Jan 20. (IF: 1.640)
3. Sakamoto Y, Yanamoto S, Rokutanda S, Naruse T, Imayama N, Hashimoto M, Nakamura A, Yoshida N, Tanoue N, Ayuse T, Yoshimine H, Umeda M: Predictors of obstructive sleep apnoea-hypopnea severity and oral appliance therapy efficacy by using lateral cephalometric analysis. *J Oral Rehabil*. 2016 Sep;43(9):649-55. doi: 10.1111/joor.12408. Epub 2016 May 1. (IF: 1.926)
4. Ohba S, Kohara H, Koga T, Kawasaki T, Miura K, Yoshida N, Asahina I: Soft tissue changes after a mandibular osteotomy for symmetric skeletal class III malocclusion. *Odontology*. 2016 Oct. DOI 10.1007/s10266-016-0280-3 (IF:1.538)
5. Sumi M, Koga Y, Tominaga J, Hamanaka R, Ozaki H, Chiang PC, Yoshida N: Innovative design of closing loops producing an optimal force system applicable in the 0.022-in bracket slot system. *Am J Orthod Dentofac Orthop*. 2016 Dec 150 (4): 968-978. doi: 10.1016/j.ajodo.2016.05.007 (IF: 1.690)
6. Yoneshima E, Okamoto K, Sakai E, Nishishita K, Yoshida N, Tsukuba T: The Transcription factor EB (TFEB) regulates osteoblast differentiation through ATF4/CHOP-dependent pathway. *J Cell Physiol*. 231(6): 1321-33, 2016 (IF : 4.155)
7. Ohba S, Kawasaki T, Hashimoto M, Yoshida N, Ashina I: A case of aspiration pneumonia after mandibular osteotomy with genioplasty. *J Cranofac Surg* 27:e356-e358, 2016. (IF0.678)
8. Ohba S, Nakao N, Kawasaki T, Miura KI, Minamizato T, Koga Y, Yoshida N, Asahina I: Skeletal stability after sagittal split ramus osteotomy with physiological positioning in patients with skeletal mandibular prognathism and facial asymmetry.. *Br J Oral and Maxillofac Surg* 54(8):920-926, 2016. (IF1.237)
9. Ohba S, Nakao N, Nakatani Y, Minamizato T, Kawasaki T, Koga T, Matsuura T, Yoshimura H, Yoshida N, Sano K, Asahina I. The skeletal and dentoalveolar stability of the maxilla after LeFort I osteotomy for cant correction. *Cranio* 34:38-42, 2016. (IF: 0.60)

#### B 邦文

##### B-a

1. 佐久間千里, 井村 英人, 新美照幸, 森田幸子, 早川統子, 夏目 長門 : Hotz 床装着により呼吸障害が改善された口唇口蓋裂を伴う 21trisomy の 1 例, 日口蓋誌 Vol. 41 (1) 56-60, 2016
2. 里美香, 丸山陽市, 和田典子, 西山由美, 山口とき子, 藤原卓, 本多正幸 : 多職種連携と歯科情報の 2 次利用に向けた歯科衛生士業務記録の標準化, 医療情報学 35 (Suppl.) : 1170-1173, 2015
3. 吉松昌子, 丸山陽市, 本多正幸, 梅田正博 : 医科と歯科の情報が一元化されたデータウェアハウスの二次利用, 医療情報学 36(Suppl.) : 1140-1143, 2016.

##### B-c

1. 吉田教明、藤村裕治、森田幸子 : 成長と発達. Gross M 著、古谷野潔 監訳. 咬合のサイエンスとアート. クインテッセンス出版、東京、31-42, 2016.
2. 森田幸子 : 不正咬合. 山口 徹、北原光男 (編) : 今日の治療指針、医学書院、東京、pp.15691454-15701455, 20162015
3. 吉田教明・森田幸子 : 歯質及び歯の欠損と不正咬合. 夏目長門(編) : 言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口腔外科学 第 2 版, 医学書院, 東京, pp.54-57, 2016
4. 丸山陽市 : 医科・歯科の電子診療録システムの連携について, 平成 27 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議論文集 : 96-97, 2016.
5. 吉松昌子, 丸山陽市, 池田久住, 川下由美子, 中尾紀子, 平尾直美, 梅田正博 : 長崎大学病院における周術期口腔機能管理の取り組み, 平成 27 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議論文集 : 443-444, 2016.
6. 里美香, 丸山陽市, 和田典子, 山口とき子, 藤原卓, 本多正幸 : 多職種連携と歯科情報の 2 次利用に向けた歯科衛生士業務記録の院内標準化, 平成 27 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議論文集 : 449-451, 2016.

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
5	0	5	3	1	26

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
吉田教明・教授	日本顎口腔機能学会 (理事)	日本顎口腔機能学会
吉田教明・教授	日本矯正歯科学会 (代議員)	日本矯正歯科学会
吉田教明・教授	日本矯正歯科学会 (学術委員)	日本矯正歯科学会
吉田教明・教授	日本矯正歯科学会 (国際渉外委員)	日本矯正歯科学会
吉田教明・教授	九州矯正歯科学会 (副会長)	九州矯正歯科学会
吉田教明・教授	日本顎変形症学会 (評議員)	日本顎変形症学会
吉田教明・教授	第9回世界矯正歯科学会大会事業推進WG委員	世界矯正歯科学会
吉田教明・教授	2017世界インプラント矯正学会大会準備委員会	世界インプラント矯正学会
吉田教明・教授	Journal of Dental Biomechanics, Editorial board	Journal of Dental Biomechanics
佛坂斉社 ・准教授	日本矯正歯科学会 (認定委員会審査委員)	日本矯正歯科学会
佛坂斉社 ・准教授	九州矯正歯科学会 (評議員)	九州矯正歯科学会
古賀義之・講師	日本矯正歯科学会 (代議員)	日本矯正歯科学会
古賀義之・講師	九州矯正歯科学会 (評議員)	九州矯正歯科学会
藤村裕治・助教	学校歯科医	長崎大学教育学部附属小・中・特別支援学校
富永淳也・助教	学校歯科医	長崎大学教育学部附属小・中・特別支援学校
富永淳也・助教	九州矯正歯科学会 (IT委員会委員)	九州矯正歯科学会
富永淳也・助教	九州矯正歯科学会 (編集委員)	九州矯正歯科学会
森田幸子・助教	学校歯科医	長崎大学教育学部附属小・中・特別支援学校
森田幸子・助教	ベトナム社会主義共和国にて口唇口蓋裂児への医療援助・技術指導及び学術調査	特定非営利活動法人 日本口唇口蓋裂協会

## 競争的資金獲得状況 (共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
吉田教明・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 脳内神経伝達物質をターゲットとした摂食機能障害の病因・病態の解明とその治療戦略
吉田教明・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究: 6自由度顎運動と生体情報の同時計測による咀嚼・嚥下制御メカニズム解明への新展開
佛坂斉社 ・准教授	放射線災害・医学研究拠点における共同研究	代表	歯周組織の代謝サイクルの追跡的バイオイメージングとリチウムの影響

丸山陽市・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 個人識別に最適化する歯式メタデータと歯式データベースに関する基礎的研究
森田幸子・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) フラボノイド類の抗酸化活性による歯根吸収抑制効果の検討
富永淳也・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 矯正治療期間短縮のための骨リモデリングを含めた長期的な歯の移動予測システムの構築
内海大・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) ボツリヌス毒素誘発性の機能低下モデルを用いた形態成長と機能発達に関する統合的研究

## 特許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
古賀義之・講師、 吉田教明・教授 他	歯列矯正用ワイヤーおよびその製造方法	2015年3月20日	出願済み	特願 2015-057854
丸山陽市・講師	歯列矯正実習用装置	2015年6月23日	出願済み	特願 2016-124298

## その他

### 非常勤講師等

氏名・職	非常勤講師等名 (授業科目)	関係機関名
吉田教明・教授	非常勤講師 (歯科矯正学)	長崎医療技術専門学校
丸山陽市・講師	非常勤講師 (歯科矯正学)	長崎医療技術専門学校
富永淳也・助教	非常勤講師 (歯科矯正学)	長崎医療技術専門学校
森田幸子・助教	非常勤講師 (歯科矯正学)	長崎医療技術専門学校

### ○特筆すべき事項

- ① 新技術の創出への取り組みとして、咀嚼運動解析システムの開発を行っている
- ② 歯並び教室を開催し、希望者を対象に矯正歯科に関する講習・相談を行い、それに関するパンフレットや冊子等を作成・配布して、歯の健康に関する啓発・啓蒙を行っている
- ③ 医科・歯科連携型電子カルテの開発 (医科・歯科連携型電子カルテは長崎大学、大阪大学、徳島大学、鹿児島大学、大阪歯科大学、福岡歯科大学、松本歯科大学、日本歯科大学新潟病院を含む90施設以上の病院に導入されている)